

2019 年度

大学院前期博士課程(修士課程)

学生募集要項 (再募集)

◆ 経済学研究科

◆ 法学研究科

◆ 文学研究科

◆ 理学研究科

◆ 工学研究科

◆ 生活科学研究科

※ 医学研究科、看護学研究科、都市経営研究科の募集要項は別途発行

大 阪 市 立 大 学

●本学の理念、基本方針、ポリシー

大阪市立大学の理念

- 大学の普遍的使命－優れた人材の育成と真理の探究－の達成
- 市民の誇りとなる大学
 - ・都市を学問創造の場としてとらえ、都市の諸問題に英知を結集して正面から取り組む。
 - ・教育及び研究の成果を都市と市民に還元し、地域社会及び国際社会の発展に寄与する。
- 市民に親しまれる大学
 - ・都市型総合大学として、都市・大阪の伝統と文化を継承する。
 - ・自由で創造的な教育と研究及び高水準の医療を推進する。
 - ・市民とともに、都市の文化、経済、産業、医療などの諸機能の向上を図り、真の豊かさの実現をめざす。

教育の基本方針

- 都市・大阪を背景とした市民の大学という理念に立脚
- 人類の幸福と発展に貢献
- 様々な分野で指導的役割を果たし、社会で活躍する人材の育成

研究の基本方針

- 新しい知の創造をめざす独創的で特色ある研究を推進
- 都市が抱える様々な課題に取り組み、成果を都市と市民に還元し、地域社会の発展に寄与
- 新しい産業を生み出す芽となる研究を推進し、その成果を社会に還元

人材育成の目標像

それぞれの学問領域の研究成果を体系的に学習し、学際領域にも応用展開できる創造力ある人材の育成

【大阪市立大学の教育の特色と目標】

大阪市立大学は、1880年の大阪商業講習所設立に始まり、日本で初めて市立の大学として発足した旧制の大阪商科大学を経て、今日まで続く長い歴史と伝統を持つ公立大学です。公立では数少ない総合大学であり、高い水準の多様な学問研究を基盤とする研究大学として歩むとともに、「理論と実際の有機的な連結を重視する学風」や市井の精神に発した自主独立・自由進取の気風を重んじて、大阪の発展や日本と世界の未来を担う人間を長年育成してきました。

大阪市立大学は、これらの伝統を生かしつつ、8学部10研究科の多彩な学問分野にわたる総合大学として、国際的かつ个性的で多様な研究の場を活かしながら、高度で闊達な少人数教育を行っています。多様な課題を抱える大阪や日本ひいては世界の調和と発展に貢献するために、真善美の価値判断を身につけ、英知と市民的公共性を備え、多様な他者と協働しながら、地域・社会の様々な分野で指導的役割を果たせる、次世代の人間の育成をめざしています。

〈大阪市立大学 大学院課程の3ポリシー〉

【学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、高度に専門性を深め、幅広い知識を備えて、それらを融合しうる研究者や職業人など社会に貢献できる人間を育成します。この目標を達成するために、所属研究科において定める専門分野に関する高度な知識・技能等を身につけ、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を受け、所定の期間在学して所定の単位を修得し、審査や試験に合格した学生に学位を授与します。

前期博士課程・修士課程では、各学問領域の研究成果の体系的な学習や自ら推進する研究活動等を通して、専門分野に関する高度の知識・技能並びに当該専門分野に関連する分野の基礎的素養を身につけ、当該分野の発展に貢献し、他の領域にも応用展開できる力を身につけているかどうか、課程修了の基準となります。

【教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）】

大阪市立大学は、学位授与の方針に掲げる学修成果の達成のために、各研究科の専攻分野に関する科目、研究科を超えて全学に提供する大学院共通教育科目、および主専攻とは別に準備する博士課程教育リーディングプログラム科目からなる教育プログラムを体系的に編成するとともに、講義、演習、実習等の多様な形態による授業を開講し、研究科の教育と研究の理念や目的に沿った研究指導を行います。

大学院共通教育科目は、大学院課程を通して教育・研究目的の達成に必要な、専門性を越えた普遍的で公正な視点で研究する姿勢を身につけることを目的として設置します。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

大阪市立大学は、大学院課程の教育を通して、ディプロマ・ポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、学部あるいは大学院の教育課程等における学修を通して培った確かな基礎学力と専門分野における十分な知識を有し、および人間性豊かで、科学や都市の産業・文化・生活・環境の発展に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れます。

このような学生を適正に選抜するために、研究科・専攻等の募集単位ごとに、多様な選抜方法を実施します。

※ 詳しくは、以下をご参照ください。

http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/admission_policy/



〈修業年限について〉

前期博士課程（修士課程）の標準修業年限は2年です。

なお、法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科では、職業を有する、又は育児や介護等の事情により、標準修業年限を越えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することを認める**長期履修学生制度**があります。詳しくは学生サポートセンター各研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

目 次

〈 一 般 選 拔 〉

| | | |
|----|---------------------------------------|----|
| 1 | 募 集 人 員 | 1 |
| 2 | 出 願 資 格 | 1 |
| 3 | 事 前 相 談 | 2 |
| 4 | 出 願 書 類 等 | 2 |
| 5 | 出 願 方 法 | 4 |
| 6 | 選 抜 方 法 | 4 |
| | (選 抜 試 験) | |
| | 経 済 学 研 究 科 | 5 |
| | 法 学 研 究 科 | 7 |
| | 文 学 研 究 科 | 8 |
| | 理 学 研 究 科 | 10 |
| | 工 学 研 究 科 | 11 |
| | 生 活 科 学 研 究 科 | 12 |
| 7 | 受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 | 13 |
| 8 | 合 格 者 発 表 等 | 13 |
| 9 | 入 学 手 続 | 13 |
| 10 | 学 費 | 14 |
| 11 | 注 意 事 項 | 14 |

〈 外 国 人 留 学 生 特 別 選 抜 〉

| | | |
|----|---------------------------------------|----|
| 1 | 募 集 人 員 | 15 |
| 2 | 出 願 資 格 | 15 |
| 3 | 事 前 相 談 | 16 |
| 4 | 出 願 書 類 等 | 16 |
| 5 | 出 願 方 法 | 19 |
| 6 | 選 抜 方 法 | 19 |
| | (選 抜 試 験) | |
| | 経 済 学 研 究 科 | 20 |
| | 法 学 研 究 科 | 22 |
| | 文 学 研 究 科 | 23 |
| | 理 学 研 究 科 | 25 |
| | 工 学 研 究 科 | 27 |
| | 生 活 科 学 研 究 科 | 28 |
| 7 | 受 験 上 ・ 修 学 上 の 配 慮 を 希 望 す る 者 の 出 願 | 29 |
| 8 | 合 格 者 発 表 等 | 29 |
| 9 | 入 学 手 続 | 30 |
| 10 | 学 費 | 30 |
| 11 | 注 意 事 項 | 30 |

| | | |
|-----------------|--|----|
| 〈 出 願 資 格 審 査 〉 | | 31 |
|-----------------|--|----|

| | | |
|---------------------------------|--|----|
| 〈 社 会 人 特 別 選 抜 学 生 募 集 の 概 要 〉 | | 32 |
|---------------------------------|--|----|

| | | |
|------------------|--|----|
| ○ キャンパスマップ・交通案内図 | | 35 |
|------------------|--|----|

| | | |
|---------------|--|-----|
| ○ 問 い 合 わ せ 先 | | 裏表紙 |
|---------------|--|-----|

〈一般選抜〉

1 募集人員

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 募集人員 |
|-----|-----------|------|-------|
| 経営学 | グローバルビジネス | 20 | ※募集なし |
| 経済学 | 現代経済 | 20 | 若干名 |
| 法学 | 法学政治学 | 15 | 若干名 |
| 文学 | 哲学歴史学 | 14 | 若干名 |
| | 人間行動学 | 16 | 若干名 |
| | 言語文化学 | 22 | 若干名 |
| | アジア都市文化学 | 8 | 若干名 |

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 募集人員 |
|------|-------|------|-------|
| 理学 | 数物系 | 29 | 若干名 |
| | 物質分子系 | 34 | ※募集なし |
| | 生物地球系 | 29 | ※募集なし |
| 工学 | 機械物理系 | 33 | ※募集なし |
| | 電子情報系 | 56 | 若干名 |
| | 化学生物系 | 33 | ※募集なし |
| | 都市系 | 47 | ※募集なし |
| 生活科学 | 生活科学 | 53 | 若干名 |

※ 理学研究科では、外国人留学生特別選抜は全ての専攻で実施します。

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

注1 選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

注2 経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科・生活科学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、32ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科及び生活科学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。

なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2019年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (7) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者
- (9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (10) 2019年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (11) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年3月31日現在において22歳以上のもの

注1 2出願資格(8)により出願しようとする者は、2018年11月22日(木)までに大学運営本部入試室までお問い合わせください。

2 2出願資格(9)から(11)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2018年11月29日(木)までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要書類を提出してください(「出願資格審査」31ページを参照してください)。

3 2出願資格(11)については、短期大学、高等専門学校、各種学校の卒業者など大学卒業資格を有していない者であっても、当該研究科において個人の能力の個別審査により大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者です。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願前に、希望する研究指導教員に必ず相談してください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。また、事前相談は教員の出張等の都合により出願に間に合わない場合がありますので、原則として出願期間の2週間前までにしてください。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります)。

経済学研究科はP. 5、6 注2を参照してください。文学研究科は、アジア都市文化学専攻を除いて、研究指導教員への相談は不要です。

4 出願書類等

※必要に応じて追加書類の提出を求めることがあります。

(1) 出願書類等(共通)

| | | |
|---|------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 入学願書 (写真2枚) | <ul style="list-style-type: none"> ① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン(消せるボールペン等は不可)を使用し、本人が記入してください。 ② ※印の欄は記入しないでください。 ③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの同じ写真(上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの)をそれぞれ貼ってください。 ④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、6. 選抜方法(選抜試験)(4ページ以下)の「願書記入上の注意」をよく読んで、指定された欄のみ記入してください。 ⑤ 出願後の記載の変更は認めません。 |
| 2 | 成績証明書及び卒業(見込)証明書 | 出身大学長、又は学部長等が作成したもの。(注) (但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業(見込)の者及び2出願資格(9)から(11)に該当する者は提出する必要がありません。) |
| 3 | 学位授与証明書 又は 学位授与申請受理証明書 | 2出願資格(2)に該当する者は、提出すること。(注) |
| 4 | 受験票等 送付用封筒 | 本学所定の封筒に 362円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所及び氏名を記入したもの。 |
| 5 | 出願資格認定通知書 | 2出願資格(9)から(11)により出願する者のみ提出。 |
| 6 | 入学検定料 | 30,000円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 (14ページ 11注意事項(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。) |

(注) 旧姓(名)の証明書を使用する場合は、姓(名)が変わった理由を別紙に記載してください(様式任意)。

(2) 研究科ごとに必要な書類

各研究科所定の用紙（願書以外）については本学 Web サイトからダウンロードできます。
 (A 4 白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。)
 [本学 Web サイト <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

《経済学研究科》

| | | |
|----------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 志望理由書 研究計画書 | 経済学研究科所定の用紙又は、経済学研究科所定の用紙の太枠内を記入したものを表紙とし、A 4 版（縦長、横書き）用紙に、研究計画等を記述の上、原本 1 部を提出してください。 |
|----------|------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|

《法学研究科》

| | | |
|----------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 志望理由書 研究計画書 | 法学研究科所定の用紙を用い、科目重視型方式に出願しようとする者は「志望理由書」を 2 部、課題重視型方式に出願しようとする者は「研究計画書」を 4 部提出してください。 |
|----------|------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|

《文学研究科》

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|------------------------------------------------------------------|
| A | 卒業論文（写し） 注を参照 | 志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。 |
| <p>注 1 卒業論文を課さない大学・学部の出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者の場合 「卒業論文(写し)」に代えて、「研究報告書」（志望専攻の専門分野について研究したことを 8,000 字程度にまとめたもの）を提出してください。 A 4 版(縦長)にパソコン等で横書きしてください(手書きも可)。 1 行あたりの字数、1 頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 「研究報告書」は出願時に提出してください(提出期日の延長は認めません)。</p> | | |
| <p>注 2 出身大学の卒業論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合 次の手順で期日延長を認めます。なお、出身大学の卒業論文提出日が期日延長日より遅く設定されている等、提出できないことがあらかじめ予想される場合は、「研究報告書(注 1 参照)」を出願時に提出のこと。 ① B 「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。 ② 学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：2019 年 1 月 31 日(木)の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：2019 年 1 月 31 日(木)17：00 まで (郵送の場合は、封筒に「卒業論文(写し)在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録郵便により送付のこと。)</p> | | |
| B | 文学研究科 必要事項記入用紙（全員） | 文学研究科所定の用紙を用い提出してください。 |
| C | A 以外の研究成果を示す論文等（写し） （希望者のみ） | A（卒業論文の写し又は研究報告書）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。 |

《工学研究科》

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A | TOEIC 公式認定証(原本) (*) | <p>2017年1月1日から2018年12月31日までに実施されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。</p> <p><u>団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。</u></p> <p><u>一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)の差し替えは認めません。</u></p> <p><u>また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)は返却しません。</u></p> |
| <p>※出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>①申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>②TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター工学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送:2019年1月17日(木)消印有効 学生サポートセンター工学研究科教務担当に直接持参:2019年1月17日(木)17:00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と朱書きし、必ず「工学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p> | | |

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

5 出願方法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でもかまいません)を使用し、下記の送付先に必ず**書留速達郵便(EMSを含む)**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、下記出願期間中の10:00~17:00(12:00~12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

| 出 願 期 間 | 送 付 先 |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------|
| <p>2019年1月4日(金)~1月9日(水) 【9日消印有効】</p> <p>※ただし、1月10日(木)以降に到着したもののうち消印がないものについては、1月9日(水)までに郵便局の窓口に出されることが確認できるものに限り受理します。</p> | <p>〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学 大学運営本部入試室</p> |

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

1月22日(火)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績および出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は、受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(選 抜 試 験)

● 経 済 学 研 究 科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

(求める学生像)

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心を持つと同時に、豊かな現実感覚を有する人を受入れます。

修士専修コース

経済学に対する関心を持ちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を受入れます。

(入学者選抜の基本方針)

一般コース

筆答試験では英語の読解力・表現力と経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

修士専修コース

筆答試験では経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性と修了後の進路の希望を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/economics/#policy>



《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。

○ 一般コース

| 2月14日(木) | | 2月15日(金) |
|-----------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 10:50~11:50 | 13:00~14:30 | 14:00~ |
| 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| 英語 | 専門科目 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 | 研究計画書等について日本語により行う。 (1人当たり約15分) |
| 辞書1冊の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 TOEIC、TOEFLによる代替可。 (注3参照) | 上記の8問の中から1問を試験場で選択。 | |

注1 口述試験は、2月14日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月15日(金)13:30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院入試の事前相談」と記載してください。

[URL] <http://www.econ.osaka-cu.ac.jp/gse/J/faculty/members.html>

3 筆答試験「英語」の代わりに、英語を母国語としない出願者のみ、2015年1月1日以降に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出することができます。

希望者は出願書類に成績証明書(原本)を同封してください。

TOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出した上で、筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を筆答試験「英語」の成績とします。

・成績証明書(原本)とは、TOEIC Listening & Reading Testの場合は「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証)※1」を、TOEFL-iBTの場合は「Test Taker Score Report※2」を指します。

- ・成績証明書は出願期間内に提出できるものに限ります（差し替えは認めません）。
- ・成績証明書の複数提出は不可です。
- ・成績証明書は返却しません。
- ・団体向けテスト（TOEIC IP テスト、TOEFL-ITP）の成績証明書は無効です。

※1 前記期限内の公式認定証であれば「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」でも問題ありません。

※2 前記期限内の公式スコアであれば「Examinee Score Report」でも問題ありません。

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。（「大学院の概要」[別冊子]参照）
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「一般」と記入してください。

○ 修士専修コース

| 2月14日（木） | 2月15日（金） |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------|
| 13:00～14:30 | 14:00～ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 専門科目 経済理論 1（政治経済学 1） 経済理論 2（政治経済学 2） 経済理論 3（近代経済学 1） 経済理論 4（近代経済学 2） 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の 8 問の中から 1 問を試験場で選択。 | 研究計画書等について日本語により行う。 （1人当たり約 15分） |

注 1 口述試験は、2月14日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月15日（金）13:30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院入試の事前相談」と記載してください。

[URL] <http://www.econ.osaka-cu.ac.jp/gse/J/faculty/members.html>

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。（「大学院の概要」[別冊子]参照）
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「修士専修」と記入してください。

● 法 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
- 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
- 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
- 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy>



《法学政治学専攻》

下記科目重視型（外国語 1 科目）、課題重視型（外国語なし）の方式があります。特に、研究者を志望する者は、科目重視型方式で受験してください。

なお、科目重視型方式で受験する者は「志望理由書」、課題重視型方式で受験する者は、「研究計画書」を提出してください【「4 出願書類等」（2 ページ）参照】。

| 科目重視型方式 | | 課題重視型方式 | |
|---------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------|
| 2月13日(水) | | 2月13日(水) | |
| 9:00~12:00 | 14:30~16:00 | 9:00~10:30 | 13:00~ |
| 筆答試験 | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| 下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択 (各科目 100 点 合計 200 点) | 外 国 語 英 語 ド イ ツ 語 フ ラ ン ス 語 中 国 語 から 1か国語 を選択 (100 点) | 下表の専門試験科目のうち、 1科目 を選択 (100 点) | 研究計画書及び筆答試験について行う。 (合否で判定する) |

注 1 課題重視型方式受験者について、実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟 2 階事務室前に掲示します。

- 2 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法を選択しなければなりません。
- 3 刑事政策を専攻科目とすることはできません。
- 4 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。
- 5 外国語科目の筆答試験については、辞書 1冊の持ち込みを可とします(ただし、電子辞書は不可)。

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門試験科目 | 法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法（商法総則、会社法）、民事訴訟法、倒産法、 労働法 —国際法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※2019年12月17日追記：労働法は選択できなくなりました。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。なお、国際組織法は上記専門試験科目名にあげられていませんが、専攻科目にすることができます。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門科目名を記入してください。
科目重視型方式受験者は、2科目
課題重視型方式受験者は、1科目
- ③ 科目重視型方式受験者は、受験科目欄「外国語」には、選択する外国語科目名を記入してください。
- ④ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（求める学生像）

人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人
社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

（入学者選抜の基本方針）

筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy>



《哲学歴史学専攻》

| 日時等 専門分野 | 2月13日（水） | | 2月14日（木） |
|-------------|---------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| | 10:30～12:00 | 13:30～16:30 | 13:30～ |
| | 筆答試験 外国語（100点） | 筆答試験 専門科目（200点） （出題分野） | 口述試験 （100点） |
| 哲 学 | 英語、ドイツ語、フランス語から 1か国語 を選択 | 哲学概論・西洋哲学史 | 専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます（1人当たり約 30分）。 |
| 日本史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択 | 日 本 史 学 | |
| 東洋史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択 | 東 洋 史 学 | |
| 西洋史学 | 英語、ドイツ語、フランス語、 ロシア語から 1か国語 を選択 | 西 洋 史 学 | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《人間行動学専攻》

| 日時等 専門分野 | 2月13日（水） | | 2月14日（木） |
|-------------|---------------------------------------------------------|------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| | 10:30～12:00 | 13:30～16:30 | 13:30～ |
| | 筆答試験 外国語（100点） | 筆答試験 専門科目（200点） （出題分野） | 口述試験 （100点） |
| 社会学 | 英語、ドイツ語、フランス語、中 国語、ロシア語、韓国・朝鮮語か ら 1か国語 を選択 | 社会学概論・社会学研究法（調 査法を含む） | 専門分野別に、筆答 試験及び提出された 論文等について行い ます（1人当たり約 30分）。 |
| 心理学 | 英 語 | 心理学概論・心理学研究法 | |
| 教育学 | 英 語 | 教育学概論・教育方法学 | |
| 地理学 | 英 語 | 地 理 学 | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《言語文化学専攻》

| 日時等 専門分野 | 2月13日(水) | | 2月14日(木) |
|-------------------------|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| | 10:30~12:00 | 13:30~16:30 | 13:30~ |
| | 筆答試験 外国語(100点) | 筆答試験 専門科目(200点) (出題分野) | 口述試験 (100点) |
| 国語国文学 | 英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択 | 国文学・国語学 | 専門分野別に、筆 答試験及び提出 された論文等につ いて行います (1人当たり約 30分)。 |
| 中国語中国文学 | 中国語 | 中国文学・中国語学・中国文化学 | |
| 英語英米文学 | 英語 | 英米文学・英語学・英米文化学 | |
| ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 | ドイツ語、フランス語、英語、 ロシア語から 1か国語 を選択 | ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※ | |
| 言語応用学 | 英語 | 言語応用学 (言語理論・言語応用論・言語比 較論・言語教育論等) | |
| 表現文化学 | 英語、ドイツ語、フランス語、 中国語、ロシア語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択 | 表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等) | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

《アジア都市文化学専攻》

| 日時等 専門分野 | 2月13日(水) | | 2月14日(木) |
|-------------|-------------------------------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|
| | 10:30~12:00 | 13:30~16:30 | 13:30~ |
| | 筆答試験 外国語(100点) | 筆答試験 専門科目(200点) (出題分野) | 口述試験 (100点) |
| アジア都市文化学 | 英語、中国語、韓国・朝 鮮語から 1か国語 を選択 | アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関する 基礎的問題) | 筆答試験及び提出さ れた論文等につ いて行います(1人当 たり約30分)。 |

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

なお、出願時に選択した受験科目は、試験当日変更することはできません。

● 理 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy>



《数物系専攻》

| 2月7日（木） | | | |
|--------------------|-------------------|-------------|------------|
| 9:30～12:00 | 13:00～15:30 | 16:00～17:20 | 17:35～ |
| 筆答試験 | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| 基礎的分野 数学 | 専門分野 数学 | 英 語 | 専門科目、卒業研究等 |

注 筆答試験の結果により、指定された者についてのみ口述試験を行います。該当者は筆答試験終了後に試験会場で発表します。なお、受験者によっては口述試験の終了時刻が遅くなる場合があります。遠方からの受験等により配慮が必要な場合は1月11日（金）までに、理学研究科教務担当に申し出て下さい。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

| 講座番号 | 講 座 名 | 専 門 分 野 |
|------|-----------|--------------------------------|
| A 1 | 数 理 構 造 論 | 代数系、表現論、多様体論、位相幾何学 |
| A 2 | 数 理 解 析 学 | 確率論、応用数学、偏微分方程式、微分幾何学、実解析・複素解析 |

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

● 工 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学研究科は、地球環境の保全と新しい技術を両立させて持続可能な社会を実現するために、「社会に対する強い責任感と高い倫理性」、「創造的に技術を革新しようとする志」、「旺盛な向学心」を有する優れた学生を広く国内外から受け入れます。具体的には、以下のいずれかあるいは複数の素養や能力を持った人を求めます。

- (1) 工学の分野において専門性を志向しつつ、さらに高度な工学領域の知識と技術を広く習得する素養
- (2) 工学以外の分野で基礎を学び、それを工学の分野で活かすために必要な素養
- (3) 修士論文の作成に求められる研究力の習得に必要な論理的思考力、デザイン力、コミュニケーション力

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針については、以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/engineering#policy>



《電子情報系専攻》 ※第1類（電子物理系）の募集はありません。

| 類 | 科目 | 2月28日（木） | | 3月1日（金） |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------|-------------------------------------------------|--------------------------------------|---------|
| | | 9:00～12:00 | 13:30～16:30 | 13:00～ |
| | | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| | | 基礎科目（200点） | 専門科目（200点） | （50点） |
| 第2類（電気情報系） 光電子工学 電磁デバイス工学 スマートエネルギー工学 電気情報システム工学 情報処理工学 知識情報処理工学 情報ネットワーク工学 マルチメディア工学 通信システム工学 システム制御工学 分散システム工学 情報基盤工学 知識情報システム工学 空間情報システム工学 | 電磁気学（第2類）、 電気回路学（第2類）、 解析、線形代数、確率統計すべてを解答 | 電気情報Ⅰ、電気情報Ⅱの両方を解答。それぞれ、エレクトロニクス、情報通信、情報処理に関する問題 | 志望する専門分野について行います。 （1人当たり約10分） | |

※ 外国語（英語）の能力は、TOEICのスコアにより評価します（100点）。

※ 一定の基準を満たさない科目がある場合に不合格となることがあります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」〔別冊子〕に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。
- ② 「受験科目」欄は、記入不要です。
- ③ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

● 生活科学研究科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/humanlife#policy>



出願しようとする者は、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望する専門科目の教員に原則として出願期間の2週間前までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

《生活科学専攻》

| 日時等 履修 コース名 | 2月13日（水） | | | 2月14日（木） |
|-------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|
| | 10:00～11:30 | 12:30～14:00 | 14:30～16:00 | 10:00～ |
| | 筆答試験 | | | 口述試験 |
| | <専門> | <外国語> | <基礎> | |
| 食・健康科学 | 志望する専門科目を 1科目選択 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学 食品生体防御学 応用栄養学 | 英語 | 次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学 | 志望する専門について行います。 （1人当たり約10分） |
| 居住環境学 | 志望する専門科目を 1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 居住福祉計画学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 居住空間設計学 居住環境材料感性学 住宅構工法 都市計画学 居住システム学 居住安全人間工学 | 英語 | 次の15科目から4科目選択 住生活 住居企画経営 居住文化史 住居計画 住居設計 都市計画 居住福祉計画 人間工学 防災安全 居住環境工学 居住行動科学 建築設備 構造力学 建築材料 建築一般構造 | 志望する専門について行います。 （1人当たり約10分） |
| 総合福祉科学 | 志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学 | 英語 | 次の2科目必須 福祉基礎1 福祉基礎2 （社会学・心理学・ 教育学・経済学・ 社会福祉学に関する 問題） | 志望する専門について行います。 （1人当たり約10分） |

※ 合否判定は、各科目100点満点の4割以上かつ全科目合計点6割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④および各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に希望する指導教員の専門科目を記入してください。
※各教員の専門科目は「大学院の概要」[別冊子]を参照してください。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験<専門>欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの<基礎>から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1、2に、居住環境学コースの<基礎>から4科目を選んで記入してください。
(「基礎」欄の1に2科目、2に2科目記入してください。順は問いません。)

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2018年11月29日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、2018年11月30日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り11月29日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等**(1) 合格者発表**

掲示・Webサイトにより合格者の発表を行います。

| 研究科 | 日時(掲示・Webサイト掲載期間) | 場所(掲示) |
|---------|-----------------------------|-----------------|
| 経済学研究科 | 3月1日(金)10:00～3月7日(木)17:00 | 各研究科の 指定する場所 |
| 法学研究科 | 3月5日(火)10:00～3月11日(月)17:00 | |
| 文学研究科 | 3月1日(金)10:00～3月7日(木)17:00 | |
| 理学研究科 | 2月20日(水)10:00～2月26日(火)17:00 | |
| 工学研究科 | 3月8日(金)10:00～3月14日(木)17:00 | |
| 生活科学研究科 | 2月28日(木)10:00～3月6日(水)17:00 | |

Webサイトでの合格者発表

大阪市立大学入試情報サイト (<http://daigaku.jp/ocu-in-goukaku/>) に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による可否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を送ります(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

入学手続は、下記の日程でおこないます。

日時 2019年3月26日(火) 10:00～15:00 (ただし、12:00～12:45を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、2019年度入学者の金額については変更されることがあります。

| | | | |
|-----|------------|---------------|----------|
| 入学料 | 納 付 区 分 | 「大阪市民及びその子」 注 | 222,000円 |
| | | 「その他の者」 | 382,000円 |
| 授業料 | | 年間 | 535,800円 |

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注1 「大阪市民及びその子」とは、入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父または母が、入学日の1年以上前（2018年4月1日以前）から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」および「住民票などの公的書類（入学手続日の属する月の1日以降に交付を受けたもの）」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※ 既納の納付金は、還付いたしません。

学費のうち入学料については徴収猶予、授業料については減免等の制度があります。

詳細については、本学 Web サイト【<http://www.osaka-cu.ac.jp/>（ホーム » 教育・学生生活 » 経済的支援制度）】又は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料徴収猶予の取扱いについて」及び「経済支援制度について」を参照してください。なお、入学料徴収猶予制度を利用した者は入学辞退ができません。

11 注 意 事 項

- (1) 出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込んだ場合※ 返還の方法等は、出願期間最終日より1か月以内に大学運営本部入試室までお問い合わせください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
- (5) 1ページの「2出願資格(9)から(11)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

〈外国人留学生特別選抜〉

1 募集人員

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 募集人員 |
|-----|-----------|------|-------|
| 経営学 | グローバルビジネス | 20 | ※募集なし |
| 経済学 | 現代経済 | 20 | 若干名 |
| 法学 | 法学政治学 | 15 | 若干名 |
| 文学 | 哲学歴史学 | 14 | 若干名 |
| | 人間行動学 | 16 | 若干名 |
| | 言語文化学 | 22 | 若干名 |
| | アジア都市文化学 | 8 | 若干名 |

| 研究科 | 専攻 | 入学定員 | 募集人員 |
|------|-------|------|-------|
| 理学 | 数物系 | 29 | 若干名 |
| | 物質分子系 | 34 | 若干名 |
| | 生物地球系 | 29 | 若干名 |
| 工学 | 機械物理系 | 33 | ※募集なし |
| | 電子情報系 | 56 | 若干名 |
| | 化学生物系 | 33 | ※募集なし |
| | 都市系 | 47 | ※募集なし |
| 生活科学 | 生活科学 | 53 | 若干名 |

・医学研究科、看護学研究科及び都市経営研究科の募集要項は、別途発行します。

注1 選抜試験の成績により、合格者数が募集人員に達しない場合があります。

注2 経済学研究科・法学研究科・文学研究科・理学研究科については、社会人を対象とした特別選抜があります。社会人特別選抜の募集人員は上記入学定員に含みます。社会人特別選抜の概要については、32ページを参照の上、各研究科個別の学生募集要項で確認してください。経済学研究科・法学研究科・文学研究科及び理学研究科は、社会人特別選抜との併願を認めません。

なお、社会人特別選抜の詳細については学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください。

2 出願資格

日本国籍を有しない者で、次の各号のいずれかに該当するもの。

- (1) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (2) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (3) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び2019年3月までに卒業見込みの者、又は専修学校の専門課程で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者
- (5) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(3)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者
- (7) 外国人留学生として学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- (8) 2019年3月末で、外国人留学生として日本の大学に3年以上、又は外国において4年制大学に3年以上在学し、もしくは15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (9) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年3月31日現在において22歳以上のもの

注1 2出願資格(4)の専修学校の専門課程は修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。

2 2出願資格(6)により出願しようとする者は、2018年11月22日（木）までに大学運営本部入試室までお問い合わせください。

3 2出願資格(7)から(9)により出願しようとする者は、出願資格の認定のため、「出願資格審査申請書」などの提出を必要としますので、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当に申し出の上、2018年11月29日（木）までに必ず学生サポートセンター各研究科教務担当に必要な書類を提出してください（「出願資格審査」31ページを参照してください）。

3 事前相談

出願しようとする者は、出願資格及び希望する研究指導教員について確認が必要です。出願前〔2018年11月29日（木）まで〕に研究指導教員に必ず相談しておいてください。事前相談がない場合、出願が認められない場合があります。研究指導教員の連絡先は学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください（各研究科教務担当の電話番号等は、裏表紙にあります）。

経済学研究科は、P20、21注2を参照してください。

4 出願書類等

※必要に応じて追加書類の提出を求めています。

(1) 出願書類等（共通）

| | | |
|---|----------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 入学願書 (写真2枚) | ① 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ② ※印の欄は記入しないでください。 ③ 受験票と写真票には、縦4cm×横3cmの 同じ写真 （上半身、無帽で出願日より3か月以内に撮影したもの）をそれぞれ貼ってください。 ④ 「志望専門分野名」欄と「受験科目」欄には、 6. 選抜方法（選抜試験） （19ページ以下）の「願書記入上の注意」をよく読んで、 指定された欄のみ 記入してください。 ⑤ 出願後の記載の変更は認めません。 |
| 2 | 成績証明書 | 最終出身(在籍)大学のもの。 注 (但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者及び2出願資格(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません。) |
| 3 | 卒業（見込）証明書 | 最終出身(在籍)大学のもの。 〈学士等の学位の記載があるもの。記載がない場合は学位取得証明書も提出してください。〉 注 (但し、出願する研究科の基礎となる本学学部卒業（見込）の者及び2出願資格(7)から(9)に該当する者は提出する必要がありません。) *卒業証書では受付できません。 |
| 4 | 日本語の能力証明書 | 日本語の公的試験を受けた者は、成績表のコピーを提出。 日本語学校や大学で日本語の授業を受けた者は、修学に差し支えない程度に日本語を修得している旨、実際に指導を受けた教員により記載・公的な押印がされたものを提出（様式任意）。 *個人の印では認められません。 |
| 5 | 在留資格・期間を証明する書類 | 日本国内に居住する者 「在留カード」の両面コピー又は市区町村が発行する「住民票の写し（原本）」（国籍、在留資格、在留期間が記載されたもの）を提出してください。 外国居住者又は短期滞在者 「パスポートのコピー」写真・国籍・氏名が掲載されているページと上陸許可（短期滞在者のみ）が掲載されているページを提出してください。 |
| 6 | 受験票等送付用封筒 | 本学所定の封筒に 362円 分の切手を貼り、受験票等送付先の郵便番号、住所および氏名を記入したもの。 |
| 7 | 出願資格認定通知書 | 2出願資格(7)から(9)により出願する者のみ提出。 |
| 8 | 履歴書 | 本学所定の用紙を用い、黒のボールペン（消せるボールペン等は不可）を使用し、本人が記入してください。 ① 学歴は、学校教育全期間を記入してください。 ② 学校名及び入学・卒業年月日は、全て記入してください。 ③ 研究歴、職歴があれば記入してください。 |
| 9 | 入学検定料 | 30,000円 郵便局の窓口で、本学所定の郵便振替払込票にて納付してください。 (30ページ 11注意事項(3)に該当する者以外には、既納の入学検定料は返還しません。) |

注 和文、英文以外のものについては、**公的機関（出身大学、日本語学校、大使館等）の証明のある翻訳文を必ず提出してください。個人の署名や印では認められません。**

(2) 研究科ごとに必要な書類

各研究科所定の用紙（願書以外）については本学 Web サイトからダウンロードできます。
（A 4 白紙に片面でプリントアウトしてください。指定がない限り PC 等での作成も可。）
[本学 Web サイト <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

※ 経済学研究科及び文学研究科については、出身大学長等の推薦書は必要ありません。

《経済学研究科》

| | | |
|---|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 志望理由・ 研究計画書 | 経済学研究科所定の用紙又は、経済学研究科所定の用紙の太枠内を記入したものを表紙とし、A 4 版（縦長、横書き）用紙に、研究計画等を記述の上、原本 1 部を提出してください。 |
|---|----------------|----------------------------------------------------------------------------------------|

《文学研究科》

| | | |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 卒業論文（写し） 注を参照 | 志望専攻の専門分野に関係のあるもの（本学文学部の卒業（見込）で同一専攻専門分野を受験する者は不要です）。 <u>出身大学の学部長等が作成した「卒業論文の写しに相違ない旨の証明書」（様式任意）を表紙に貼ってください。</u> 卒業論文が日本語以外の場合は、出願者自身が作成した日本語の要旨を添付してください。要旨は 2,000 字以内で、A 4 版（縦長）にパソコン等で横書きしてください（手書きも可）。 1 行あたりの字数、1 頁あたりの行数等の様式は自由です。 |
| 注 1 卒業論文を課さない大学・学部出身者、志望専攻の専門分野と異なる学部・学科・専攻等の出身者の場合 「卒業論文(写し)」に代えて、「研究報告書」（志望専攻の専門分野について研究したことを日本語で 8,000 字程度にまとめたもの）を提出してください。 A 4 版（縦長）にパソコン等で横書きしてください（手書きも可）。 1 行あたりの字数、1 頁あたりの行数等の様式、文章の構成は自由です。 「研究報告書」は出願時に提出してください（提出期日の延長は認めません）。 | | |
| 注 2 出身大学の卒業論文提出日の関係で、出願時に提出できない場合 次の手順で期日延長を認めます。なお、出身大学の卒業論文提出日が期日延長日より遅く設定されている等、提出できないことがあらかじめ予想される場合は、「研究報告書(注 1 参照)」を出願時に提出のこと。 ① B 「文学研究科 必要事項記入用紙」に必要事項を記入。 ② 学生サポートセンター文学研究科教務担当に郵送：2019 年 1 月 31 日（木）の消印有効 学生サポートセンター文学研究科教務担当に直接持参：2019 年 1 月 31 日（木）17：00 まで （郵送の場合は、封筒に「卒業論文(写し)在中」と朱書きし、必ず「文学研究科教務担当」あてに郵便局で 特定記録郵便 により送付のこと。） | | |
| B | 文学研究科 必要事項記入用紙（全員） | 文学研究科所定の用紙を用い提出してください。 |
| C | A 以外の研究成果を示す論文等（写し） （希望者のみ） | A（卒業論文の写し又は研究報告書）以外で、志望専攻の専門分野についての研究成果を示す論文等があれば、その写しを提出してください。外国語で書かれたものでも構いません。 |

《理学研究科》

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 推 薦 書 (全員) | 最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教授が作成の上、厳封したもの。(※) |
| B | TOEIC 公式認定証(原本) (*) (物質分子系専攻 に出願する者のみ) | 2017年1月1日から2018年12月31日の間に実施されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。 一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)の差し替えは認めません。 また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)は返却しません。 |
| <p>※出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>①申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>②TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター理学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送:2019年1月16日(水)消印有効 学生サポートセンター理学研究科教務担当に直接持参:2019年1月16日(水)17:00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と朱書きし、必ず「理学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p> | | |

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

《工学研究科》

| | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| A | 推 薦 書 | 最終出身(在籍)大学長、学部長、研究科長又は指導教員が作成の上、厳封したもの(本学工学部卒業(見込)の者は提出する必要がありません)。(※) |
| B | TOEIC 公式認定証(原本) (*) | 2017年1月1日から2018年12月31日までに実施されたTOEIC Listening & Reading Testのスコアを有効とします。複数回受験した場合は、出願しようとする者がその中から一つを選択して出願時に提出してください。 団体特別受験制度(IPテスト)のスコアは無効です。 一度、提出されたTOEIC公式認定証(原本)の差し替えは認めません。 また、提出されたTOEIC公式認定証(原本)は返却しません。 |
| <p>※出願時に「TOEIC公式認定証(原本)」を提出できない場合は、次のとおり提出期日の延長を認めます。</p> <p>①申立書(A4用紙・様式任意)に理由を記入し、出願時に同封してください。</p> <p>②TOEIC公式認定証(原本)をいずれかにより提出してください。</p> <p>学生サポートセンター工学研究科教務担当(裏表紙参照)に郵送:2019年1月17日(木)消印有効 学生サポートセンター工学研究科教務担当に直接持参:2019年1月17日(木)17:00まで (郵送の場合は、出願専攻名を明記した紙を同封の上、封筒に「TOEIC公式認定証 在中」と朱書きし、必ず「工学研究科教務担当」あてに郵便局で特定記録速達郵便により送付のこと。)</p> | | |

(*) 写真のないものは無効とします。提出されたTOEIC公式認定証(原本)に不正が認められた場合は、入学許可後であっても入学を取り消します。

《生活科学研究科》

| | | |
|---|-------|-------------------------------------------|
| A | 推 薦 書 | 最終出身(在籍)大学長、学部長、学科長、研究科長又は指導教授が作成したもの。(※) |
|---|-------|-------------------------------------------|

(※) 和文、英文以外の推薦書については、公的機関等の証明のある翻訳文を必ず提出してください。(翻訳文を必要とする場合、厳封は不要です)。

5 出願方法

出願しようとする者は、入学検定料を納付し、出願書類を取りそろえ、本学所定の出願封筒(出願書類が入りきらない場合は、本学所定の出願封筒の表を切り取ったものを貼った封筒でもかまいません)を使用し、下記の送付先に必ず**書留速達郵便(EMSを含む)**により送付してください。ただし、本学に在学している者(研究生・研修生等を含む)については、下記出願期間中の10:00~17:00(12:00~12:45を除く)の時間に限り、学生サポートセンター各研究科教務担当に直接提出することができます(本学所定の出願封筒を使用し出願書類を提出すること)。

| 出 願 期 間 | 送 付 先 |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|
| 2019年1月4日(金)~1月9日(水) 【9日消印有効】 ※ただし、1月10日(木)以降の到着したものうち消印がないものについては、1月9日(水)までに入試室に差し出されたことが確認できるものに限り受理します。 | 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 大阪市立大学 大学運営本部入試室 |

出願の受付が完了した者には「受験票」及び「受験上の注意」を発送します。

1月22日(火)頃に発送の予定ですので、1週間経過しても到着しない場合は、学生サポートセンター各研究科教務担当に連絡してください。

6 選抜方法

入学者選抜は、選抜試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。選抜試験会場は、本学杉本キャンパス(JR阪和線杉本町〔大阪市立大学前〕駅下車)です。

なお、詳細は受験票を送付する際に通知します。受験の際には、必ず受験票を持参してください。

(選 抜 試 験)

● 経 済 学 研 究 科

入学者受入れの方針 (アドミッション・ポリシー)

(求める学生像)

一般コース

経済学の基礎理論を習得したうえで、現代の経済学の先端的な理論や実証研究に関心を持つと同時に、豊かな現実感覚を有する人を受入れます。

修士専修コース

経済学に対する関心を持ちながら、社会のさまざまな分野で問題解決に取り組む意欲のある人を受入れます。

(入学者選抜の基本方針)

一般コース

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では英語の読解力・表現力と経済学の基礎の習得度を、口述試験では「研究計画書」の的確性と日本語による意思疎通能力を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

修士専修コース

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では経済学の基礎の習得度、口述試験では「研究計画書」の的確性と修了後の進路の希望を、それぞれ確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/economics#policy>



《現代経済専攻》

本研究科前期博士課程には、後期博士課程への進学あるいは長年の職業体験やライフワークの学問的成果への結実を目指して修士論文作成を目標とする「一般コース」と、現代経済に関する精深な知識を獲得して社会の諸分野で活躍する人材養成を目標とする「修士専修コース」が置かれています。後期博士課程へ進学を希望する場合は、一般コースを受験してください。

○ 一般コース

| 2月14日(木) | | 2月15日(金) |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 10:50~11:50 | 13:00~14:30 | 14:00~ |
| 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| 英語 | 専門科目 経済理論1(政治経済学1) 経済理論2(政治経済学2) 経済理論3(近代経済学1) 経済理論4(近代経済学2) 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 | 研究計画書等について日本語により行う。 (1人当たり 約15分) |
| 辞書2冊(母語と英語1冊及び日本語と英語1冊)の持ち込み可。ただし、経済用語辞典、電子辞書等は不可。 英語での解答を求めている場合を除き、解答は日本語で記すこと。 TOEIC、TOEFLによる代替可。(注3参照) | 上記の8問の中から1問を試験場で選択。問題文は日本語で記されているが、英語での解答が可能。 | |

注1 口述試験は、2月14日(木)の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月15日(金)13:30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院入試の事前相談」と記載してください。

[URL] <http://www.econ.osaka-cu.ac.jp/gse/J/faculty/members.html>

3 筆答試験「英語」の代わりに、英語を母国語としない出願者のみ、2015年1月1日以降に受験したTOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出することができます。

希望者は出願書類に成績証明書(原本)を同封してください。

TOEIC Listening & Reading TestもしくはTOEFL-iBTの成績を提出した上で、筆答試験「英語」を受験することもできます。その場合は両方の成績を比較した上で、出願者に有利と判断される方を筆答試験「英語」の成績とします。

・成績証明書(原本)とは、TOEIC Listening & Reading Testの場合は「TOEIC Listening & Reading OFFICIAL SCORE CERTIFICATE(公式認定証)*1」を、TOEFL-iBTの場合は「Test Taker Score Report*2」を指します。

- ・成績証明書は出願期間内に提出できるものに限ります（差し替えは認めません）。
- ・成績証明書の複数提出は不可です。
- ・成績証明書は返却しません。
- ・団体向けテスト（TOEIC IP テスト、TOEFL-ITP）の成績証明書は無効です。

※1 前記期限内の公式認定証であれば「OFFICIAL SCORE CERTIFICATE」でも問題ありません。

※2 前記期限内の公式スコアであれば「Examinee Score Report」でも問題ありません。

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。（「大学院の概要」[別冊子]参照）
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「一般」と記入してください。

○ 修士専修コース

| 2月14日（木） | 2月15日（金） |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| 13:00～14:30 | 14:00～ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 専門科目 経済理論1（政治経済学1） 経済理論2（政治経済学2） 経済理論3（近代経済学1） 経済理論4（近代経済学2） 計量経済学 経済史 経済政策 国際経済 上記の8問の中から1問を試験場で選択。 問題文は日本語で記されているが、英語での解答が可能。 | 研究計画書等について日本語により行う。 （1人当たり約15分） |

注1 口述試験は、2月14日（木）の筆答試験の結果により、指定した者についてのみ行います。

該当者は、2月15日（金）13:30に経済学部棟1階エレベーター前で発表します。

2 事前相談の教員連絡先は下記サイトを参照してください。

教員にメールを送る場合は、件名に「大学院入試の事前相談」と記載してください。

[URL] <http://www.econ.osaka-cu.ac.jp/gse/J/faculty/members.html>

願書記入上の注意

- ① 「研究指導教員名」欄に、研究指導を希望する教員の氏名を記入してください。
- ② 「志望専門分野名」欄に、研究指導を希望する教員の担当授業科目を記入してください。（「大学院の概要」[別冊子]参照）
- ③ 願書送付用封筒の表面、コース記入欄に「修士専修」と記入してください。

● 法 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

- 1 法学的・政治学的問題に豊かな関心を持ち、解決策を模索する強い意志を持つ人
- 2 実務経験の中で生じる問題を、法学的・政治学的観点から考察しようとする意志を持つ人
- 3 法学・政治学の高度の研究を遂行するために不可欠な基礎的知識を持つ人
- 4 自己の見解を論理的に構築・展開して、相手に説明し正当化する能力を持つ人

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/law#policy>



《法学政治学専攻》

| 2月13日（水） | |
|----------------------------------------------------|---------------------------------------------------------|
| 9:00～12:00 | 14:30～ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 下表の専門試験科目のうち、 2科目 を選択 (各科目 100点、合計 200点) | ① 日本語での説明 (パーソナル・ヒストリーと留学の目的) ② 質疑応答 (合否で判定する) |

- 注 1** 実際の口述試験の開始時刻は、当日法学部棟2階事務室前に掲示します。
- 2** 専門試験科目の選択の際には、「大学院において専攻する科目」を含めなければなりません。なお、国際組織法を専攻しようとする者は国際法と他の1科目を選択しなければなりません。
- 3** 刑事政策を専攻科目とすることはできません。
- 4** 専門試験科目の筆答試験については、「六法」1冊を貸与します。

| | |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 専門試験科目 | 法社会学、日本法制史、憲法、行政法、刑法、刑事訴訟法、刑事政策、民法、商法（商法総則、会社法）、民事訴訟法、倒産法、 労働法 、国際法、国際私法、英米法、ドイツ法、アジア法（中国法）、欧州政治外交史、政治学、政治学史、国際政治、行政学 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

※2019年12月17日追記：労働法は選択できなくなりました。

願書記入上の注意

- ① 志望専門分野名欄の1に、「大学院において専攻する科目」を記入してください。大学院において専攻可能な科目は、原則として上記の専門試験科目名と一致します。
 なお、国際組織法は、上記専門試験科目名にあげられていませんが、専攻科目にすることができます。
- ② 受験科目欄「専門」には、受験する専門試験科目名（2科目）を記入してください。
- ③ 研究指導教員名は、事前相談をおこなったうえで、記入してください。

● 文 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

（求める学生像）

人文科学・行動科学の専門領域に関する明確な問題意識と専門的知識を有する人

社会的経験をふまえて人文科学・行動科学の専門領域の研究を志す人

（入学者選抜の基本方針）

日本語の能力証明書では日本語の基礎能力を、筆答試験では外国語の読解力・表現力と専門科目の習得度を、口述試験では提出された卒業論文や研究計画書等の達成度や的確性を確認し、学士課程における成績とあわせて総合的に評価します。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/literature#policy>



《哲学歴史学専攻》

| 日時等 | 2月13日（水） | | 2月14日（木） |
|------|----------------------------|----------------------|----------------|
| | 10:30～12:00 | 13:30～16:30 | 13:30～ |
| | 筆答試験 | | 口述試験 （100点） |
| 専門分野 | 外国語（100点） | 専門科目（200点） （出題分野） | |
| 哲 学 | 日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。 | 哲学概論・西洋哲学史 | |
| 日本史学 | | 日 本 史 学 | |
| 東洋史学 | | 東 洋 史 学 | |
| 西洋史学 | | 西 洋 史 学 | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《人間行動学専攻》

| 日時等 | 2月13日（水） | | 2月14日（木） |
|------|----------------------------|----------------------|----------------|
| | 10:30～12:00 | 13:30～16:30 | 13:30～ |
| | 筆答試験 | | 口述試験 （100点） |
| 専門分野 | 外国語（100点） | 専門科目（200点） （出題分野） | |
| 社会学 | 日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。 | 社会学概論・社会学研究法（調査法を含む） | |
| 心理学 | | 心理学概論・心理学研究法 | |
| 教育学 | | 教育学概論・教育方法学 | |
| 地理学 | | 地 理 学 | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《言語文化学専攻》

| 日時等 | 2月13日(水) | | 2月14日(木) |
|-------------------------|----------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|
| | 10:30~12:00 | 13:30~16:30 | 13:30~ |
| 専門分野 | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 (100点) |
| | 外国語(100点) | 専門科目(200点) (出題分野) | |
| 国語国文学 | 日本語 ※ 専門分野別に 出題されます。 | 国文学・国語学 | 専門分野別に、筆 答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人 当たり約30分)。 |
| 中国語中国文学 | | 中国文学・中国語学・中国文化学 | |
| 英語英米文学 | | 英米文学・英語学・英米文化学 | |
| ドイツ語 フランス語圏 言語文化学 | | ドイツ語圏文学・ドイツ語学・ド イツ語圏文化学 フランス語圏文学・フランス語 学・フランス語圏文化学 ※※ | |
| 言語応用学 | | 言語応用学 (言語理論・言語応用論、言語比 較論・言語教育論等) | |
| 表現文化学 | 表現文化学 (文化理論・表現文化論・表象文 化論・比較表現論等) | | |

※ 各専門分野とも、専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

※※ ドイツ語圏言語文化学を主として専攻する場合はドイツ語圏文学・ドイツ語学・ドイツ語圏文化学を、フランス語圏言語文化学を専攻する場合はフランス語圏文学・フランス語学・フランス語圏文化学を選択すること。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

《アジア都市文化学専攻》

| 日時等 | 2月13日(水) | | 2月14日(木) |
|----------|-------------|--------------------------------------|------------------------------------------------|
| | 10:30~12:00 | 13:30~16:30 | 13:30~ |
| 専門分野 | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 (100点) |
| | 外国語(100点) | 専門科目(200点) (出題分野) | |
| アジア都市文化学 | 日本語 | アジア都市文化学 (アジアの都市と文化に関 する基礎的問題) | 筆答試験及び提出さ れた論文等につい て行います(1人当 たり約30分)。 |

※ 専門科目の一部として、外国語読解能力を問う問題が出題されることがあります。

願書記入上の注意

「文学研究科入学願書の記入例・注意事項」を参照してください。

● 理 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

自然科学における専門分野の基礎学力を有し、自然の摂理を解明・理解し、基礎科学的、学際的、あるいは応用的観点から研究を推進することを目指す人を求めます。

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/science#policy>



《数物系専攻》

| 2月7日（木） | |
|-----------------------------------------------|--------------------------|
| 9:30～12:00 | 13:30～ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 英語および専門科目 (英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すことがあります。) | 専門科目、日本語の修得の程度等について行います。 |

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください。専門分野が未定の場合は講座番号のみを記入してください（専門分野の研究内容については、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照してください）。

| 講座番号 | 講座名 | 専門分野 |
|------|----------------------|---------------------------------------------------------------------------|
| A 1 | 数理構造論 | 代数系、表現論、多様体論、位相幾何学 |
| A 2 | 数理解析学 | 確率論、応用数学、偏微分方程式、微分幾何学、実解析・複素解析 |
| A 3 | 基礎物理学 (理論) | 素粒子論、原子核理論、宇宙物理、数理物理 |
| A 4 | 宇宙・高エネルギー物理学 (実験) | 宇宙線物理学、高エネルギー物理学、宇宙・素粒子実験物理学、重力波実験物理学 |
| A 5 | 物性物理学 | 超低温物理学(実験)、光物性物理学(実験)、生体・構造物性物理学(実験)、素励起物理学(理論)、電子相関物理学(理論)、レーザー量子物理学(実験) |

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《物質分子系専攻》

| 2月7日（木） | |
|------------|--------------------------|
| 9:30～12:00 | 13:30～ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 専門科目 | 専門科目、日本語の修得の程度等について行います。 |

※ 外国語（英語）の能力は、TOEICテスト、もしくはTOEIC Listening & Reading Testのスコアにより評価します。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄、「受験科目」欄には記入する必要はありません。
 ② 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名（複数可）を記入してください。

《生物地球系専攻》

| 2月7日(木) | |
|-----------------------------------------------|--------------------------|
| 9:30~12:00 | 13:30~ |
| 筆答試験 | 口述試験 |
| 英語および専門科目 (英語が母語とみなされる場合は、他の試験を課すことがあります。) | 専門科目、日本語の修得の程度等について行います。 |

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、次の専門分野から一分野ずつ選んで志望する順に講座番号と専門分野を記入してください(専門分野の研究内容については、「大学院の概要」[別冊子]を参照してください)。

| 講座番号 | 講座名 | 専門分野 |
|------|----------|-------------------------------|
| C 1 | 生物分子機能学 | 代謝調節機能学、生体低分子機能学、生体高分子機能学 |
| C 2 | 生体機能生物学 | 動物機能生物学、植物機能生物学、細胞機能学 |
| C 3 | 自然誌機能生物学 | 動物機能生態学、植物機能生態学、情報生物学、植物進化適応学 |
| C 4 | 環境地球学 | 人類紀自然学、都市地盤構造学、地球情報学 |
| C 5 | 地球物質進化学 | 地球物質学、岩石学、地球史学 |

- ② 「受験科目」欄には記入する必要はありません。
- ③ 「研究指導教員名」欄には、事前相談をおこなった教員名(複数可)を記入してください。

● 工 学 研 究 科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

工学研究科は、地球環境の保全と新しい技術を両立させて持続可能な社会を実現するために、「社会に対する強い責任感と高い倫理性」、「創造的に技術を革新しようとする志」、「旺盛な向学心」を有する優れた学生を広く国内外から受け入れます。具体的には、以下のいずれかあるいは複数の素養や能力を持った人を求めます。

- (1) 工学の分野において専門性を志向しつつ、さらに高度な工学領域の知識と技術を広く習得する素養
- (2) 工学以外の分野で基礎を学び、それを工学の分野で活かすために必要な素養
- (3) 修士論文の作成に求められる研究力の習得に必要な論理的思考力、デザイン力、コミュニケーション力

※ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー及び専攻ごとのアドミッション・ポリシー、入学者選抜の基本方針については、以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/engineering#policy>



《電子情報系専攻》 ※第1類（電子物理系）の募集はありません。

| 類 | 科目 | 2月28日（木） | | 3月1日（金） |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------|---------|
| | | 9:00～12:00 | 13:30～16:30 | 13:00～ |
| | | 筆答試験 | 筆答試験 | 口述試験 |
| | | 基礎科目（200点） | 専門科目（200点） | （50点） |
| 第2類（電気情報系） 光電子工学 電磁デバイス工学 スマートエネルギー工学 電気情報システム工学 情報処理工学 知識情報処理工学 情報ネットワーク工学 マルチメディア工学 通信システム工学 システム制御工学 分散システム工学 情報基盤工学 知識情報システム工学 空間情報システム工学 | 電磁気学（第2類）、 電気回路学（第2類）、 解析、線形代数、確率統 計すべてを解答 | 電気情報Ⅰ、電気情報Ⅱ の両方を解答。それぞ れ、エレクトロニクス、 情報通信、情報処理に関 する問題 | 志望する専門分野につい て行います。 （1人当たり約10分） | |

※ 外国語（英語）の能力は、TOEIC のスコアにより評価します（100点）。

※ 一定の基準を満たさない科目がある場合に不合格となることがあります。

願書記入上の注意

- ① 「志望専門分野名」欄の1～3に、「大学院の概要」〔別冊子〕に記載された専門分野番号と専門分野名を志望する順に記入してください。
- ② 「受験科目」欄は、記入不要です。
- ③ 教員の受入可能学生数から、志望する専門分野で合格できないことがあります。
- ④ 「研究指導教員名」欄は、事前相談を行ったうえで記入してください。

● 生活科学研究科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

アドミッション・ポリシー、ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーは以下をご参照ください。

<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/academics/graduate/humanlife#policy>



出願しようとする者は、「大学院の概要」〔別冊子〕を参照の上、志望する専門科目の教員に、2018年11月29日（木）までに必ず相談してください。志望専門科目の担当教員連絡先は、学生サポートセンター生活科学研究科教務担当（裏表紙参照）にお問い合わせください。

《生活科学専攻》

| 履修 コース名 | 2月13日（水） | | | 2月14日（木） |
|------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|
| | 10:00～11:30 | 12:30～14:00 | 14:30～16:00 | 10:00～ |
| | 筆答試験 | | | 口述試験 |
| 日時等 | | | | |
| | <専門> | <外国語> | <基礎> | |
| 食・健康科学 | 志望する専門科目を 1科目選択 栄養医科学 公衆栄養学 生体情報学 病態栄養学 臨床栄養学 給食経営管理論 生化学 食品衛生科学 生体機能学 食品生体防御学 応用栄養学 | 英語 （本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます） | 次の4科目から 1科目選択 化学 生化学 解剖生理学 生物学 | 志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分） |
| 居住環境学 | 志望する専門科目を 1科目選択 住生活学 居住文化史 居住空間意匠学 居住福祉計画学 住居人類学 居住環境工学 建築設備 居住空間設計学 居住環境材料感性学 住宅構工法 都市計画学 居住システム学 居住安全人間工学 | 英語 （本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます） | 次の15科目から 3科目選択 住生活 住居企画経営 居住文化史 住居計画 住居設計 都市計画 居住福祉計画 人間工学 防災安全 居住環境工学 居住行動科学 建築設備 構造力学 建築材料 建築一般構造 | 志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分） |
| 総合福祉科学 | 志望する専門科目を 1科目選択 社会福祉学 福祉政策学 社会開発学 福祉システム学 教育臨床学 地域福祉学 家族社会学 社会政策学 先端ケア学 | 英語 （本研究科が用意 する「英和辞典」の み使用できます） | 次の 1科目必須 福祉基礎1 （社会学・心理学・ 教育学・経済学・社 会福祉学に関する 問題） | 志望する専門について 行います。 （1人当たり約10分） |

※ 合否判定は、各科目 100 点満点の 4 割以上かつ全科目合計点 6 割以上の者の中から、口述試験を含めて総合的に行います。

願書記入上の注意

次の共通①～④および各コースの⑤に従って記入してください。

【コース共通】

- ①「志望専攻名」欄に生活科学と記入してください。
- ②「志望専門分野名」欄の1に志望する履修コース名を、2に希望する指導教員の専門科目を記入してください。
※各教員の専門科目は「大学院の概要」[別冊子]を参照してください。
- ③受験科目「専門」欄の1に筆答試験＜専門＞欄より上記②と同じ専門科目を記入してください。
- ④受験科目「外国語」欄には記入する必要がありません。

【食・健康科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1に、食・健康科学コースの＜基礎＞から1科目を選んで記入してください。

【居住環境学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄の1、2に、居住環境学コースの＜基礎＞から3科目を選んで記入してください。
(「基礎」欄の1に2科目、2に1科目記入してください。順は問いません。)

【総合福祉科学コース】

- ⑤受験科目「基礎」欄には記入する必要がありません。

7 受験上・修学上の配慮を希望する者の出願

障がい等を有する等の理由により、本学の受験上・修学上の配慮を希望する者は、2018年11月29日(木)までに、志願する各研究科教務担当に申し出て相談してください。

なお、2018年11月30日(金)以降においても、可能な限り対応いたしますが、できる限り11月29日(木)までに申し出てください。

8 合格者発表等

(1) 合格者発表

掲示・Webサイトにより合格者の発表を行います。

| 研究科 | 日時(掲示・Webサイト掲載期間) | 場所(掲示) |
|---------|-----------------------------|-----------------|
| 経済学研究科 | 3月1日(金)10:00～3月7日(木)17:00 | 各研究科の 指定する場所 |
| 法学研究科 | 3月5日(火)10:00～3月11日(月)17:00 | |
| 文学研究科 | 3月1日(金)10:00～3月7日(木)17:00 | |
| 理学研究科 | 2月20日(水)10:00～2月26日(火)17:00 | |
| 工学研究科 | 3月8日(金)10:00～3月14日(木)17:00 | |
| 生活科学研究科 | 2月28日(木)10:00～3月6日(水)17:00 | |

Webサイトでの合格者発表

大阪市立大学入試情報サイト (<http://daigakuje.jp/ocu-in-goukaku/>) に、合格者受験番号の一覧を掲載します。なお、いずれの発表方法についても電話等による合否の照会には一切応じません。

また、「合格者受験番号一覧表」の送付を希望する者は、受験票送付時に同封されている「受験上の注意」で案内しますので、確認してください。

(2) 合格通知書

合格者発表日に、各研究科の指定する場所において、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」をお渡しします。その際には「受験票」の提示が必要です。なお、合格者本人による書類の受け取りができない場合は、事前に学生サポートセンター各研究科教務担当へ連絡してください。

経済学研究科・文学研究科に合格した者には、合格者発表日に、「合格通知書」及び「入学手続書類の交付について」を発送します(手渡しでの書類交付はありません)。

9 入学手続

入学手続は、下記の日程でおこないます。

日時 2019年3月26日(火) 10:00~15:00 (ただし、12:00~12:45 を除く)
場所 入学手続の場所は、別途合格者に通知します。

10 学 費

現行の金額は次のとおりですが、2019年度入学者の金額については変更されることがあります。

| | | | |
|-----|------|--------------|----------|
| 入学料 | 納付区分 | 「大阪市民及びその子」注 | 222,000円 |
| | | 「その他の者」 | 382,000円 |
| 授業料 | | 年間 | 535,800円 |

なお、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料が適用されます。

注1 「大阪市民及びその子」とは、入学者本人もしくは入学者本人と同一戸籍にある父又は母が、入学日の1年以上前(2018年4月1日以前)から引き続き大阪市内に住所を有する者をいい、「入学料納付区分認定」の手続を行う必要があります。

日本国籍を有しない者も同一の要件です。

2 「大阪市民及びその子」に該当する者は、本学所定の「入学料納付区分認定願」及び「住民票などの公的書類(入学手続日の属する月の1日以降に交付を受けたもの)」を提出して入学料納付区分認定を受ける必要があります。詳細は入学手続書類交付日にお渡しする「入学料・授業料」を必ず参照してください。なお、入学料納付区分認定を受ける者は、認定を受けてから入学料を納付してください。

※ 既納の納付金は、還付いたしません。

また、授業料の減免の制度があります。詳細については、国際センター(TEL 06-6605-3558)において別途お知らせします。

11 注意事項

- (1) 出願受理後の出願取り消しは一切認めません。
- (2) 選抜試験の結果に関する照会には応じません。
- (3) 既納の入学検定料は次の事由以外では返還しません。
 - ・入学検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・出願書類の不備等により受理されなかった場合
 - ・重複して入学検定料を払い込んだ場合
- ※ 返還の方法等は、出願期間最終日より1か月以内に大学運営本部入試室までお問い合わせください。
- (4) 入学願書に虚偽の記載をした場合、または入学試験において不正行為をしたことが判明した場合は、入学決定後であっても、許可を取り消すことがあります。
- (5) 15ページの「2出願資格(7)から(9)」による出願者で、当該研究科の定めた資格要件を満たさなかった場合は、本試験に合格しても入学を許可しません。
- (6) 本学では、出願・受験の過程において収集された個人情報について、入学試験・入学案内・入学手続関係・選抜方法研究・統計資料作成・本学での学生生活関連業務に関して必要とされる範囲で利用します。

前述の業務以外で利用する場合は、必ず本人に了解を得た上で利用します。業務に必要な範囲で集められた個人情報を、第三者に提供することはありません。

- (7) 入学手続に際して、我が国に居住している保証人が必要です。

過去の試験問題は、学生サポートセンター各研究科教務担当で閲覧できます。詳細は、学生サポートセンター各研究科教務担当にお問い合わせください(裏表紙参照)。

<出願資格審査>

一般選抜出願資格(9)～(11)〔1ページ参照〕 に該当する者が対象です。
外国人留学生特別選抜出願資格(7)～(9)〔15ページ参照〕

1. 出願資格審査申請期限

2018年11月29日(木) 【消印有効】

2. 出願資格審査申請書等送付先

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当
(志望する研究科あてに送付してください〔裏表紙参照〕。)

3. 出願資格審査申請書類

① 出願資格審査申請書 本学所定用紙

② 最終学歴に関する証明書

○ 一般選抜出願資格(9)の者
外国人留学生特別選抜出願資格(7)の者

・在籍した最終大学(学部)の退学証明書及び在籍大学院研究科の在籍証明書又は修了(見込)証明書
・在籍した大学(学部)の成績証明書及び在籍大学院研究科の成績証明書

○ 一般選抜出願資格(10)の者
外国人留学生特別選抜出願資格(8)の者

・成績証明書
・在学証明書
・指導教員の推薦書(厳封したもの)

○ 一般選抜出願資格(11)の者
外国人留学生特別選抜出願資格(9)の者

・最終出身学校の成績証明書
・卒業(修了)証明書
・最終出身学校の学則及びシラバス、又はこれに相当するもの(コピー可)

③ 職務経歴又は学力に関する書類 (提出を求める場合があります)

④ 志望理由書 (提出を求める場合があります)

⑤ その他、本人の希望により、上記以外の証明書・論文・作品・資料等を添付することを認めます。

4. 出願資格審査

各研究科の選考方法による。

5. 出願資格審査結果通知方法

出願締め切り日の1週間前までに郵送(速達)で通知。
(ただし、理工学研究科については別途連絡します。)

6. 出願資格認定有効期限

当該年度に実施する入試に限る。(当該研究科に限り有効)

7. 出願資格審査申請書請求方法

2018年11月29日(木)【消印有効】までに必ず必要書類をそろえて申請できるように、出願資格審査申請書の請求は早めに行ってください。

※工学研究科については、事前に工学研究科教務担当に申し出てください。

① 直接窓口で受領する場合

学生サポートセンター各研究科教務担当で受領してください。

月～金曜日(祝日及び休業日を除く)

9:00～17:00(ただし、12:00～12:45を除く)

② 郵送で請求する場合

ア 請求する封筒の表に「大学院前期博士課程出願資格審査申請書請求」と「赤色」で書き、裏には差出人の郵便番号・住所・氏名・電話番号を記載。

イ 返信用封筒(92円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記した定形封筒)を同封。

ウ 請求先：〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学学生サポートセンター〇〇研究科教務担当

(志望する研究科あてに請求してください〔裏表紙参照〕。)

③ 本学Webサイトからダウンロードする場合(A4白紙に片面でプリントアウトしてください。)

[本学Webサイト <http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/admissions/graduate/ishorui>]

＜社会人特別選抜学生募集の概要＞

| 研究科名 | 経済学研究科 | 法学研究科 | 文学研究科 | 理学研究科 | 生活科学研究科 |
|-------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------|
| 専攻名 | 現代経済 | 法学政治学 | 哲学歴史学 人間行動学 言語文化学 アジア都市文化学 | 物質分子系 | 生活科学 |
| 募集人員 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 | 若干名 |
| 出願資格 (A及びB の両条件を 充たす者) | <p>次のいずれかに該当すること</p> <p>(1) 大学を卒業した者及び2019年3月までに卒業見込みの者</p> <p>(2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者</p> <p>(3) 外国において学校教育における16年の課程を修了した者、及び2019年3月までに修了見込みの者</p> <p>(4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者</p> <p>(5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者</p> <p>(6) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であること、その他の文部科学大臣が別に定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び2019年3月までに修了見込みの者</p> <p>(7) 昭和28年文部省告示第5号をもって文部科学大臣の指定した者</p> <p>(8) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって出願資格(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者及び2019年3月までに授与される見込みの者</p> <p>(9) 学校教育法第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、当該研究科において、大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの</p> <p>(10) 2019年3月末で、大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、当該研究科において所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者</p> <p>(11) 当該研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2019年3月31日現在において22歳以上のもの（経済学研究科は、満30歳以上の者）</p> | | | | |
| | B | 2019年3月31日現在において上記(1)～(8)、(10)(11)の出願資格取得者で、満30歳以上の者。 | 2019年3月31日現在において、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。(9)～(11)については、別途出願資格認定が必要。 | 2019年3月31日現在において上記(1)～(9)、(11)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。 | 2019年3月31日現在において上記(1)～(11)の出願資格取得者で、3年以上の職業その他の社会的実務経験を有すること。 |
| 出願書類 配付時期 | 2019年11月上旬 | | | | |
| 出願期間 | 2019年1月4日（金）～1月9日（水）【9日消印有効】 ※ ただし、1月10日（木）以降に到着したもののうち消印がないものについては、1月9日（水）までに郵便局の窓口へ差し出されたことが確認できるものに限り受理します。 | | | | |
| 選抜試験 | A選抜：2月14日（木） 15日（金） | 2月13日（水） | 2月13日（水） 14日（木） | 2月7日（木） | A選抜：2月13日（水） |
| 合格発表 | A選抜：3月1日（金） | 3月5日（火） | 3月1日（金） | 2月20日（水） | A選抜：2月28日（木） |
| 選抜方法 | A選抜：筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。 | 研究計画書などの書類審査、専門科目1科目の筆答試験及び口述試験により行います。 | 筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。 | 筆答試験並びに口述試験の成績及び出願書類の内容を総合して行います。 | A選抜：研究計画書などの書類審査、筆答試験（専門分野1科目・英語）及び口述試験により行います。 |

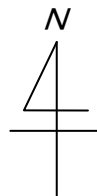
※ 社会人特別選抜による入学者についても、一般選抜による入学者と同様に昼間課程（夜間課程はありません）となりますが、夜間にも履修できるようにするなど、さまざまな便宜を図っている研究科もあります。

詳しくは各研究科が発行している前期博士課程社会人特別選抜学生募集要項を参照してください。

募集要項の請求方法は、裏表紙下欄を参照してください

-MEMO-

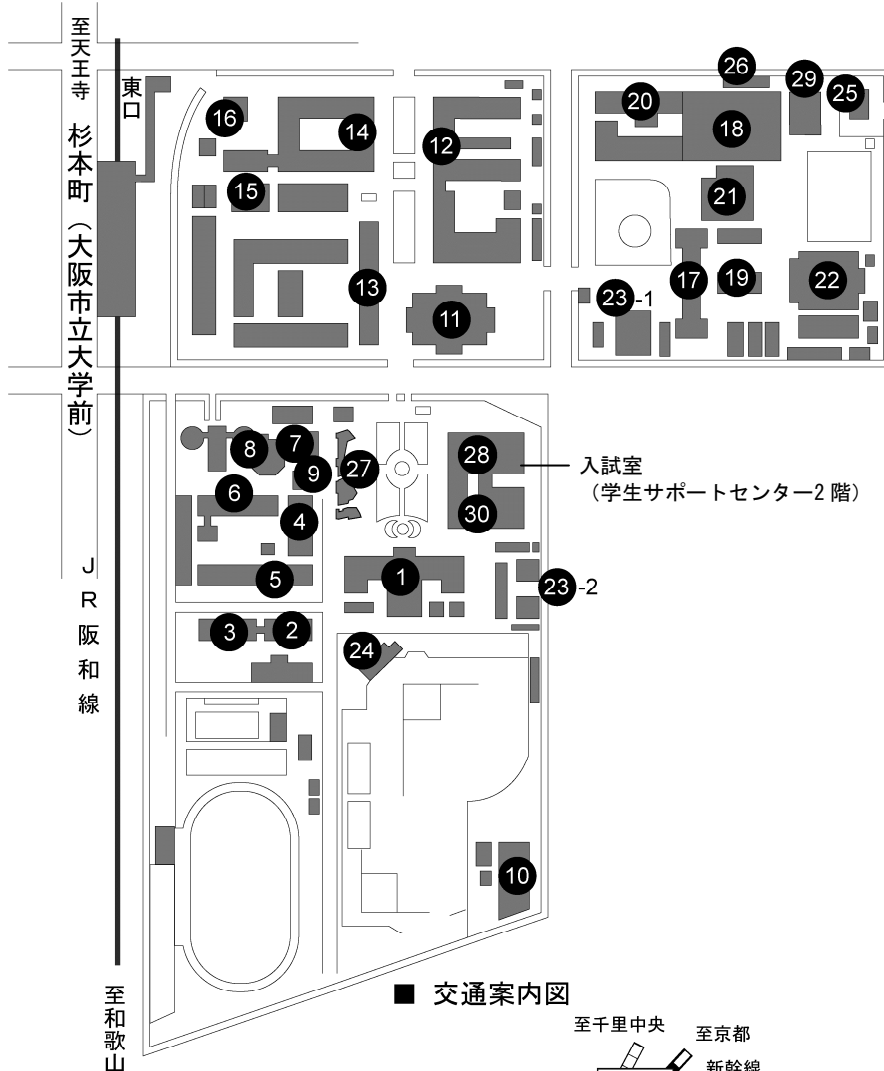
-MEMO-



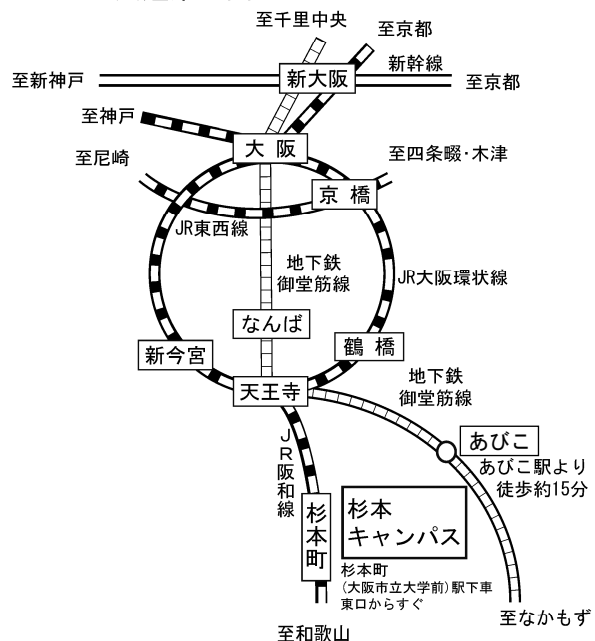
■ 杉本キャンパス

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138
JR「杉本町(大阪市立大学前)」駅下車、東口からすぐ
地下鉄御堂筋線「あびこ」駅下車、4号出口より南西へ徒歩約15分

- ① 1号館
- ② 商学部棟
- ③ 経済学部棟
- ④ 法学部棟
- ⑤ 文学部棟
- ⑥ 経済研究所棟
- ⑦ 都市研究プラザ
- ⑧ 田中記念館
- ⑨ 保健管理センター
- ⑩ 河海工学実験場
- ⑪ 学術情報総合センター
- ⑫ 理学部棟
- ⑬ 工学部棟
- ⑭ 生活科学部棟
- ⑮ 工作技術センター
- ⑯ 生活科学部棟別館
- ⑰ 2号館
- ⑱ 全学共通教育棟
- ⑲ 4号館
- ⑳ 基礎教育実験棟
- ㉑ 第1体育館
- ㉒ 第2体育館
- ㉓-1 第1学生ホール
- ㉓-2 第2学生ホール
- ㉔ 硬式野球場スタンド
- ㉕ ゲストハウス
- ㉖ インキュベータ
- ㉗ 高原記念館
- ㉘ 学生サポートセンター
- ㉙ 共通研究棟
- ㉚ 本部棟



■ 交通案内図



● 問い合わせ先

◆専攻・分野・受験科目・過去問題等

| 学生サポートセンター | | 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号 |
|--------------------------------------------------------|------------------|------------------------------------------------------------------------|
| 経済学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2251 | FAX 06-6605-3649 〔各研究科共通〕 (FAXでお問い合わせの際は、必ず志望研究科名を明記してください。) |
| 法学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2303 | |
| 文学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2353 | |
| 理学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2504 | |
| 工学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2651 | |
| 生活科学研究科教務担当 | TEL 06-6605-2803 | |
| ◎受付時間 月～金曜日(祝日及び休業日を除く) 9:00～17:00(ただし、12:00～12:45を除く) | | |

◆出願手続等

| | |
|-----------------|------------------|
| 大阪市立大学大学運営本部入試室 | TEL 06-6605-2141 |
|-----------------|------------------|

出願書類の請求方法(郵送希望者)

- 1 封筒の表に「赤色」で「大学院〇〇研究科前期博士課程(修士課程)学生募集要項請求(一般選抜・外国人留学生特別選抜)又は(社会人特別選抜)」と記載
- 2 返信用封筒(封筒の表に「ゆうメール」と「赤色」で記載のうえ、300円分の返信用切手を貼り、受取人の郵便番号・住所・氏名を明記したもの〔角形2号(24.0cm×33.2cm)〕を同封してください。
- 3 請求先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
大阪市立大学大学運営本部入試室



大阪市立大学
OSAKA CITY UNIVERSITY

大学運営本部 入試室

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3番138号
2018年11月発行